

議会だより



▲町内の5つの小学校の6年生196名が5月から6月にかけて議場見学に訪れました。議員から「議会は何するところ、と題して説明を受け、そのあと議員からの質問に元気よく手を挙げて答えてくれました。

6月1日から24日に開催された6月議会と5月17日に開催された臨時議会の結果をお知らせします。



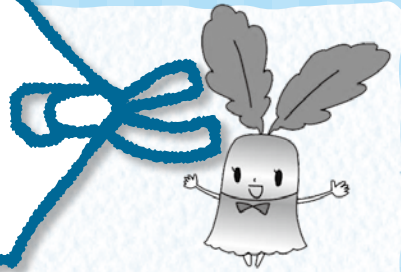
蒲生氏郷公顕彰会公認キャラクター
がもにゃん

滋賀県日野町議会
令和3年6月定例会号
(令和3年8月15日発行)

INDEX

小学6年生の議場見学	p.2~3
新しい議会構成が決まる	p.4
委員会からの報告	p.4~9
12議員が一般質問に立つ	p.10~21

町内の小学6年生のみなさんが 議会見学に来てくれました



日野菜のPRキャラクター
「あのなひのな」

5月24日から6月22日にかけて、桜谷、必佐、日野、西大路、南比都佐の各小学校6年生児童計196人が、日野町議会を見学に来てくれました。

議場では「日野町の人口は?」「議員には何歳から立候補できると思いますか?」「投票は何歳からできるのでしょうか?」などの議員からの質問に、元気に手を挙げて答えたり、また発言席に立って質問をしてくれた児童もありました。また、議員の案内で議長室や議員控室なども見学し、説明係の議員に質問をしてくれました。

近年「子ども議会」を開催している市町も増え、子ども目線の素朴な意見が政策に取り入れられたという報告もあります。今後、日野町議会でも検討すべき課題の一つです。

議員からの質問に
元気に答える
日野小の児童たち



- はじめて議場に入り、きんちょうしていたけど、議員さんのお話やクイズを聞くうちに楽しくなってきた。
- 役場のいろいろな部屋(課)を見せていただき、とても勉強になった。



真剣な表情で
予算や条例の
説明を聞く
必佐小の児童たち



- 学校にアスレチックを作って、という人がいたけど、ほんとうにできるのかな?
- 社会の勉強で、議場(議会)を見に行ってみたいなあと思いました。そしたら、「行けるよ!」と先生に言われた時は「やったー!」と思った。





発言席で
質問をする
南比都佐小の児童



- 議場に行くことはなかなかないので、とてもいい機会になった。
- 議員さんのことや役場の仕事などがよく分かり、とてもよかった。

歴代議長の写真が
並ぶ議長室で、
議長の仕事について
説明を受ける
桜谷小の児童たち



- 本会議が(映像で)見られることにとてもおどろきました。
- 議会がどのように話を進めていくのか、とても興味がわきました。また、見てみたいです。



役場庁舎内の各課窓口で、
議員よりお仕事の内容の
説明を受ける
西大路小の児童たち



- 役場の中を見学させていただき、とても勉強になりました。

- 議員さんのクイズで、投票ができる年れいや選挙に出られる年れいがわかった。また、大人になって日野町に住みたいかと聞かれ、考えこんだ。

新しい議会構成が決まる (5/17臨時会)

5月17日、臨時議会が招集されました。

議会人事では、新たに議会広報常任委員会を設置し、委員を選任するとともに、任期満了に伴う総務・産業建設・厚生各常任委員会の委員の選任を行いました。

また、地方創生特別委員会の委員の数を7名から12名とし、5名の委員の追加選任を行いました。

令和3年5月17日

日野町議会構成表

議席名	職名	正・副議長	総務常任委員会	産業建設常任委員会	厚生常任委員会	議会広報常任委員会	議会運営委員会	予算特別委員会	地方創生特別委員会	議会改革特別委員会	東近江行政組合議員	八日市布引ライフ組合議員	中部清掃組合議員	監査委員
①	野矢 貴之		副	○	○	○		○	副	正				
②	山本 秀喜			○	○	副		○	正	○			○	
③	高橋源三郎		○		副	正		副	○	○			○	
④	加藤 和幸		○	副		○	○	○	○	○			○	
⑥	後藤 勇樹		正	○		○	○	○	○	○				
⑦	奥平 英雄		○	○				○	○	副				
⑧	山田 人志			○			正	正	○	○		○		
⑨	谷 成隆	副	○		○	○	●	○	○	○				
⑩	中西 佳子		○	正			○	○	○	○		○		
⑪	齋藤 光弘		○		○	○	副	○	○	○		○		
⑫	西澤 正治			○	○		○	○	○	○			○	○
⑬	池元 法子				正		○	○	○	○	○			
⑭	杉浦 和人	正	●	●	○	●	●	●	●	●	○			

(注)正=委員長 副=副委員長 ○=委員 ●=オブザーバー 議席⑤は欠員

6月定例会・委員会からの報告

予算特別委員会

6月は、新年度予算がスタートして間もない時期なので、補正予算案が提出されない場合があります。しかし、今年の6月議会は、全体的に議案がいつもより少ないなかで、新型コロナ対策を中心に補正予算が提案され、今の世相を反映しているようです。

付託案件

議第43号 令和3年度日野町一般会計補正予算(第2号)

補正予算の主な内容は、子育て世代への支援 2,299万9千円、保育所やこども園等の感染防止対策 計340万円、ワクチン接種体制の整備と移動支援 1,406万円、町内の飲食店支援 1,400万円のほか、GIGAスクール構想に基づく小中学校のパソコン配備 計3,796万円も新型コロナ対策予算として計上されました。

また、当初に一般財源で予定していた事業費に国の交付金を使うなどで、基金からの繰入れで見込んでいた財源のうち3,975万5千円を基金に戻すことにしました。

それらを差引し、今回の一般会計補正額は合計で9,329万5千円となって、その財源のほとんどが国からの交付金です。

質疑と採決

質疑の多くは新型コロナ対策の内訳に関するもので、ワクチン特設会場の状況をたずねる質問もありました。

新型コロナ以外では、桜谷学童保育の利用者増への対応に関する質問がありました。

採決では、全会一致で原案どおりの補正予算を可決することに賛成しました。



ワクチン接種特設会場

総務常任委員会

付託案件

議第40号 財産の取得について(庁内ネットワーク更新機器)

役場庁舎内に設置された各種サーバ、大容量記憶装置等ネットワーク機器の定期更新取得。指名競争入札により4,400万円にて調達（5年前の調達価格は5,565万円）。

議第41号 財産の取得について(校務用センターサーバシステムおよび教員用パソコン機器)

役場、町立小中学校に設置する各種サーバや校務用ノートパソコン等の取得。指名競争入札により9,680万円にて調達。授業への影響を考慮し夏休み中に納入予定。

議第42号 日野町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

令和3年5月19日の関係法律の整備に関する法律公布に伴い、マイナンバーカードの発行主体が地方公共団体情報システム機構となり、手数料についても同機構が設定することとなったことから、マイナンバーカードの再交付手数料の規定を条例より削除するもの。

議第40号から議第42号までを一括で採決 → 全員一致にて可決すべきとしました。

調査・研究

1. 普通交付税の仕組み、算定方法について

令和2年度より特別交付税における地方バスの経費の一部について、財政力指数（地方公共団体の財政力を示す指標）による補正が行われるようになり、財政力指数が全国平均より高い（良好な）日野町の場合は今年度、大幅な減額となることが予想されます。このため日野町議会として国に対し、個々の町村の実情に勘案した是正を求めるための意見書提出を、議会に提案することとなりました。

日野町議会では地方バスの経費負担について特別交付税が減額されないよう国に求めます



2. 児童登下校時の安全対策と通学道路の整備状況について

2019年に発生した大津市での園児死傷事故を受け対策が取られた町内通学道路について担当課より説明を受け、通学道路のルート見直し、草刈り、除雪、グリーンベルト等についても意見交換を行いました。

交通量が多い、道幅が狭い、草や笹が生い茂って歩道が歩きにくい等、危険な箇所があります
行政、学校、PTA、地域住民みんなで子どもたちの安全対策を考えていく必要があります



3. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う小中学校授業の状況について

昨年度より町内小中学校に配置している学習支援員の現状や雇用状況、プールやクラブ活動の現状等について担当課より説明を受け、意見交換を行いました。

4. 今後3年間の教育行政についての教育長の所信と方向性

今年度より新たに着任した安田寛次教育長より、今後の取り組みや教育方針等の説明を受け、小中学校と日野高校の連携、CAP（創造・進取・前向き）の信条、地域とのつながり等について意見交換を行いました。

産業建設常任委員会

調査研究

1. 地域経済緊急支援事業「ふるさと日野町がんばろう商品券」の効果と課題

この事業については、利用率93%で残り7%が換金できませんでした。概ね1,500人が利用されませんでした。成果としては、地域経済の活性化、地域の事業所へのコロナ禍での利用促進が図れました。課題としては、経済循環を意識しての分析や困っている人の支援となったのか調べるのは難しいです。また期間延長も難しいです。

2. 平和堂日野店跡地利用と商店等の振興計画

事務的には、昨年、平和堂へ取得を申し入れ、随時相互に連絡をしています。跡地利用については、概ねみんながそこに集まれるという意見を中心に、用地取得が決まった段階で、住民の声を伺う機会を持ち、財政面を含めて検討となります。



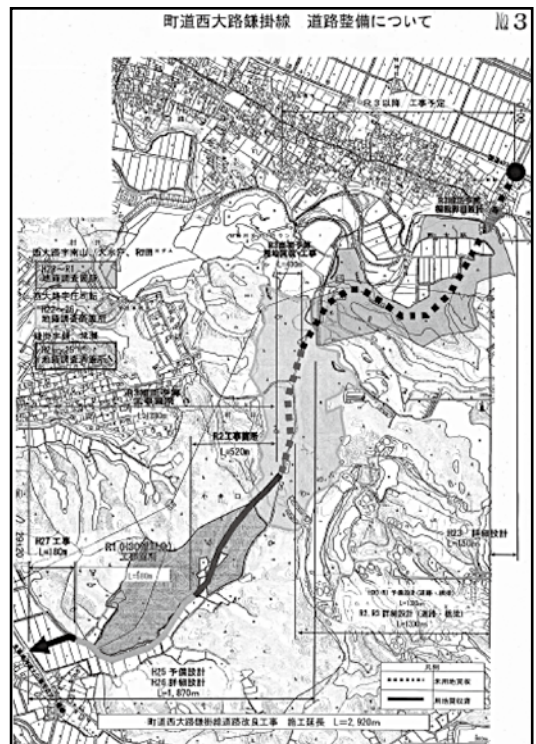
3. 町道西大路鎌掛線道路改良工事計画

用地交渉は継続的に行われており、今年度詳細設計が終わる予定です。通学路でもあり、十分な安全対策を要望します。現時点では計画通り交付金が付いており、工事も順調に進んでいます。「事業費は増加すると想定され、交付金にも影響されるが、令和9年度目標は2年程度遅れるかと思う」との説明がありました。

4. 町道小御門十禅師線通学路整備工事

内池西区長さんから交通安全対策として町議会に要望書の提出を受けました。

この道路は、通学路でもあり必佐小学校からも整備要望があります。現在、地区計画による宅地整備の計画がありますが整備が完了すれば市街化区域に編入されます。道路整備は将来に向けて計画する必要があります。



町道小御門十禅師線 (内池地先)

厚生常任委員会

調査研究

1. 高齢者のワクチン接種事業の現状説明(厚生主監より)

- 65歳以上の高齢者の人数
- ワクチン(ファイザー社製)の供給量
- 高齢者に対する接種券、予診票の送付
- 予約受付
- 集団接種会場
- 現在までの接種状況
- 64歳以下の接種
- ワクチンの問題
- 基礎疾患のある人の接種……主治医に相談し承認をもらうよう指導
- 個別接種と職域接種……個別接種は実施に向けて調整中。職域接種は企業や工業団地から相談がある
- その他……高齢者の方の移手段として、タクシー利用助成(500円券4枚)を実施
問診時における他言語(外国人の方)の対応を調整中
特設会場での待合場所が屋外となる為、暑さ対策として低床バスを配備



2. 質疑・意見交換・自由討議の主な内容

● 役場職員の勤務状況・健康管理について

ワクチン接種は土・日も行われているが、役場職員の時間外労働に対する手当や代休取得、健康管理はどうでしょうか。

☞ 通常業務上の仕事であり時間外が生じますが、本人の希望で代休も認めています。また職員の健康管理には十分留意し対応しています。

● 職域接種・一般ボランティアの募集について

64歳以下の住民に対するワクチンの職域接種対応、および一般ボランティアの募集の現状はどうでしょうか。

☞ 職域接種は企業だけでなく、商工会からの依頼もありますが、町からの医師や看護師等人員に余裕がありません。障害者施設のわたむきの里には嘱託医がおられるので、実施する方向です。一般ボランティアは、現在日赤奉仕団の皆さんに組織的に活動をしていただいています。一般のボランティアを受け付ける体制が整わない中での募集は行えません。

● 木曜日の休日について

木曜日に接種がないのはなぜでしょうか。

☞ 保健センターの乳幼児検診など止められない業務があります。予約開始を木曜日に設定し、本来業務と予約業務を木曜日に集中して行っているためです。

● 基礎疾患のある方について

「基礎疾患」の判断について本人ができるのでしょうか。

☞ 基礎疾患については国から示されており、かかりつけ医に相談の上申し出てもらうようにしています。

● 副反応について

当町での副反応の状況はどうでしょうか。

☞ 現在約3,500人の接種のうち、約10人が気分が悪くなるなどの反応がありましたが、アレルギー反応が出た人は今のところありません。

● 医師会との調整について

長期間にわたりますが、医師会との調整の状況はどうでしょうか。

☞ 医師会の先生方も使命感を持って対応していただいているところです。



ワクチン接種の受付

地方創生特別委員会

調査・研究

1. 地方創生特別委員会のあり方を考える

今年度、計画されている地方創生に係る推進事業の詳細を確認していきました。文化財保存事業、特産農産物振興事業、地産地消を進めた学校給食など、町の魅力を発信する事業や人と人とのつながりを創出する事業など、日野が元気になるプロジェクトが数々進められることが分かりました。この特別委員会は、これらのプロジェクトの成果を検証していただくだけではなく、次に繋げるアイデアを生む場でなければならぬと考えています。

意見

特別委員会は調査研究の場であるので、単なる質疑だけではどうかと思う。これまで、地方創生推進交付金事業や総合戦略の作成にも関わってこなかった。地方議会としての関わり方が重要になってくる。

2. 日野町における幹線道路の現状と今後の取り組みについて（対応:建設計画課）

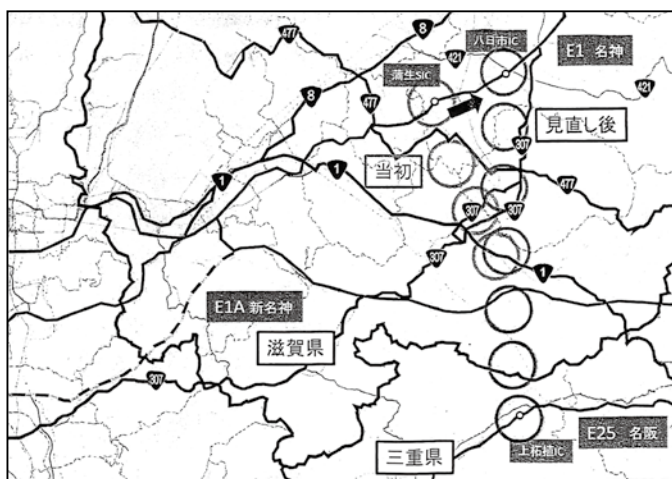
名神名阪連絡道路について、5月24日に整備促進期成同盟会令和3年度総会が開催され、滋賀県道路整備課、三重県道路企画課からルート変更（起点の接続位置を蒲生SIC付近から八日市IC付近に変更）し、検討を進めていくことの報告を受けました。

意見

国道307号渋滞緩和や利便性の向上が図れる反面、大まかなルートを示されても地元の理解を求めにくいのではないかと慎重に進めるべきではないか。

町の考え

計画については都度必要に応じて、ルートの見直しの情報提供をしていく。



名神名阪連絡道路（資料：滋賀県）

3. 企業誘致と町内商店業の現状と課題について（対応:商工観光課）

- ① 企業誘致 日野第二工業団地(株)麗光用地4.4haに、(株)カンボが進出予定。
- ② 工場用地開発 松尾・鳥居平地先 向茂都市開発(株) 5,796㎡、工場等用地として開発。
- ③ 令和2年度日野町商工会経営発達支援事業での事業所業況調査結果において、売上高平均は国の持続化給付金や家賃支援金等の収入により所得が維持されたと考えられ、約2%減少の結果。景況感調査では、悪化48件、不変37件、良好12件。

4. 日野町空家等対策計画と空き家バンクの現状と課題について（対応:企画振興課・建設計画課）

空家等の現状と空き家バンクの運用状況は、下の表の通り。
依然と空き家バンクの登録が少ない状況が続いており、登録数を増やすために、実態調査の他、水道開閉栓情報を活用した働きかけに取り組まれています。

平成元年度空家等実態調査結果

平成3年6月現在

空き家の数	居住可能	倒壊する危険有	空き家バンク登録数
557戸	407戸	150戸	10件

意見

空き家のケースも様々である。都会へ出ておられるケースは対応可能だが、お亡くなりになられて空き家になるケースは難しい。区別をして対応しているのか。

町の考え

自治会独自で対応されている好事例もある。出前講座や行政懇談会などで住民の方々に話していきたい。

議会改革特別委員会

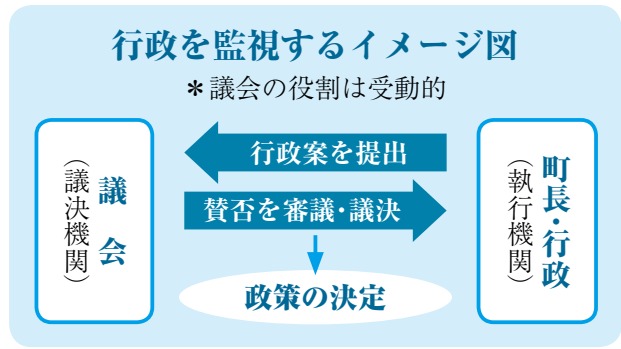
受け身の議会から積極的な議会へ！

問題提起 「地域の課題について話し合う議会にするには」

現状分析

<行政案について審議する一般的な議会スタイル>

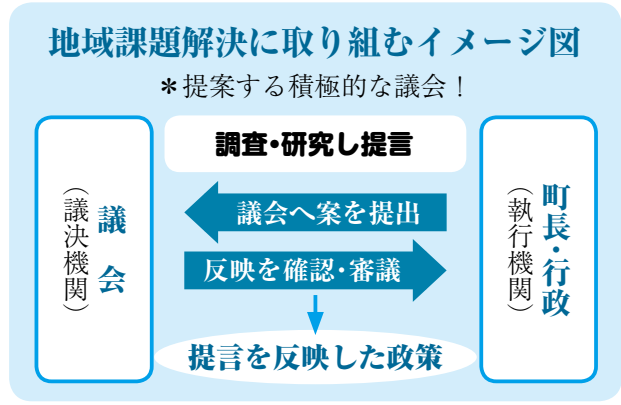
- 監視機能として行政案に質疑し議決する
- 行政で実行されない案を話し合う機会はほぼない
- 議案はどれも地域の課題ではあるが…
- 多くの市町村議会で同じ課題を抱えている
- 日野町もこのパターンがほとんど
- 世間のイメージと議会実務にギャップがある



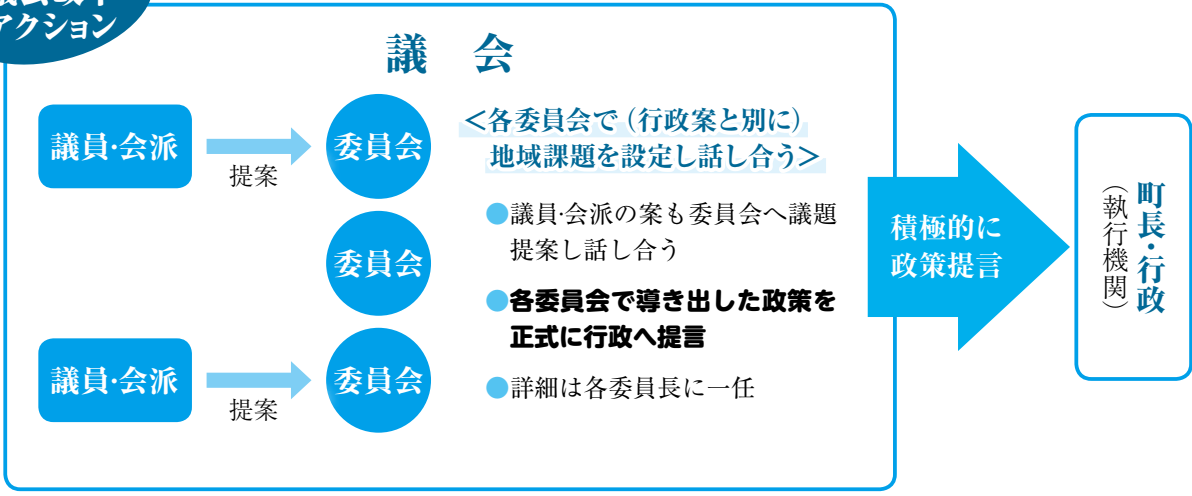
+

目標設定

第17期後半議会改革特別委員会の目標
『話し合い、提案する、積極的な議会』



議会改革アクション



各委員会で設定された課題や調査の進捗、提言内容、行政の対応などを「議会だより」へ反映します。
 ※このアクションによって『話し合い、提案する、積極的な議会』のプロセスが見える化することを目指します。
 地域の課題、ご意見やご感想、ご要望など、みなさんのお声を議会や各委員会へお寄せください。

令和3年6月

町議会定例会における 一般質問内容および質問順序

発言順序・氏名	質問内容
1 山田 人志	1. デジタル化社会のなかでの学校教育 2. 公民館制度の土台づくりを話し合う P.11
2 西澤 正治	1. 避難情報伝達と河川の浚渫について P.12
3 奥平 英雄	1. 上野田ひばりの公園水路の除草を P.12
4 高橋 源三郎	1. 新型コロナワクチンの接種者と非接種者 2. 蓮花寺区内の速度規制と三叉路渋滞問題 P.13
5 山本 秀喜	1. 日野町の教育行政のこれから 2. 日野菜の栽培面積10haに向けて P.14
6 谷 成隆	1. 道の駅の必要性の検討を！ 2. アクティブ・ラーニングの捉え方と町の方針について P.15
7 池元 法子	1. 日野町営住宅の情勢の変化 2. 移動権を保障する近江鉄道線を守ろう P.16
8 中西 佳子	1. 防災・減災対策について 2. 循環型社会への取り組み P.17
9 齋藤 光弘	1. 中山間地域等直接支払事業の拡充を 2. 防災情報伝達システムの整備状況は P.18
10 野矢 貴之	1. 日野町にとって観光振興とは？ P.19
11 加藤 和幸	1. デジタル改革関連法と日野町の参与 2. 集落における災害避難体制整備 P.20
12 後藤 勇樹	1. いせの調整池は廃止可能か？ 2. 中山中小企業団地の開発を！ P.21

本会議の様様をインターネットで配信しています。

(ライブ中継・録画中継)

右のQRコードを読み取ると一般質問の録画が視聴できます。

日野町議会インターネット中継

検索



デジタル化社会のなかでの学校教育 公民館制度の土台づくりを話し合う



山田 人志 議員

日本はデジタル化への対応が鈍く、国は事態を深刻に受け止めて Society5.0を提唱し、その思想を学校教育にも求めています。
デジタル化社会のプラスマイナスを踏まえての、町内小中学校の教育方針を一問一答で聞きました。

問 Society5.0の学校教育のデジタル化、やろGIGASクール構想について関連を教えてください。

答 経済発展と社会的課題の解決を両立する超スマート社会に備え、従来の学校教育の良さICT活用を合わせ、これからの社会を生き抜く子どもたちの力を育てようとしている。

問 作業ツールとしてデジタル機器を使う授業はどのようなものがあり、今後増えるのか。

答 カメラで撮影し写真や動画を活用

する、データ送受信で資料を共有する、協力してプレゼン資料を作成するなど、の使い方がある。また、ドリル型ソフトの導入で個別最適化された学びが実現できる。こうした授業は、今後確実に増えていく。

問 プログラミング教育で論理的思考を育成できるのか。

答 論理的思考はプログラミング教育というより、学習の準備等で最も効率・効果的な方法を考えるなど日常行動のなかで養える。

問 情報ツールとしてデジタル化に際し、リモート授業で実際に感じているプラスマイナスを教えてください。

答 プラス面は、誰かが取り残される状態が回避しやすいこと、マイナス面では、リテラ

シーや家庭の理解、ネット環境等が充分でなく、学校の授業の代替にはまだ時間がかかる点である。評価しているか。

問 ソーシャルメディアの功罪を学校教育のなかでどのように評価しているか。

答 「功」は、社会と孤立を防ぐ効果で、「罪」は、個人情報流出の危険やいじめが起こりやすい点であるが、いかにうまく付き合うかが大切である。

問 デジタル化のスピード以上に想像力を養うことが課題で、学校教育の役割と想像力を聞きたい。

答 五感を磨く努力が重要で、自分で体験して知識にする心掛けが必要である。本物体験を積み上げていく大切さを教えていきたい。

問 地区公民館の事業費全額が行政外部への補助金か。

答 地区公民館の予算は、公民館運営協議会が行う地域の社会教育活動に補助するものである。

問 公民館運営委員会と実行委員会および公民館職員の位置づけを聞きたい。

答 運営委員会は、実行委員会は「町立公民館の管理運営に関する規則」に基づき設定され、公民館職員は町公民館設置条例に基づいて任用されていて、実行委員は公民館職員と協力して

今年度からスタートした第6次総合計画のなかで「公民館を中心とした地域づくり」が計画されていますが、土台となる地区公民館制度の制度的な不備や未整理を解決しておく必要があり、その点を一問一答で質問しました。

問 つまり地区公民館には、名目上の事業主体として民間団体があり、実態上の事業主体として行政の付属機関があるということですが、両者の関係を示しているものは何もない。この現状では、総合計画の取り組みに着手しようとしても、どこから何を始めて、どこがどのような分担と連携をするのか全くわからない。

答 この問題を関係者で話し合う際、担当課にも協力してもらえるか。

問 第6次総合計画に掲げる「公民館を拠点とした地域活性化を進めるためには、社会教育施設という枠にとられず、まちづくりの視点を入れて地域の皆さんとともに解決していきたい」と考える。

答 第6次総合計画に掲げる「公民館を拠点とした地域活性化を進めるためには、社会教育施設という枠にとられず、まちづくりの視点を入れて地域の皆さんとともに解決していきたい」と考える。



問 避難情報伝達と河川の※^{しゅん せつ}浚渫について

答 防災情報システムを整備、多様な方法で情報伝達
水害の備えと環境維持のため河川管理者へ継続して要望



西澤 正治 議員

問

5月20日から災害時に自治体が発表する避難情報の名称が変更され、警戒レベル3では「高齢者等避難」レベル4で「避難指示」となった。

昨年度、町では防災情報伝達システムを整備し、いち早く情報が伝達できるようになり、暮らしと安全が守られるようになった。

①新たな避難情報の運用は、どのように周知徹底するのか。

②河川に堆積している土砂が増水や氾濫の原因となっている。浚渫をされたい。

答

①4月から防災伝達情報システム

の運用を開始。防災行政無線の屋外拡声子局、防災アプリ、戸別受信機など多様な方法で住民の皆さんに伝達する。加えて、防災マップを更新し、新たな避難情報も掲載し、更なる周知を図る。

②河川管理者である滋賀県において、河川の巡視を行い、必要に応じて浚渫や竹、木の伐採を順次実施していただいている。今後も水害の備えと美しい河川環境が維持されるよう継続して要望を行っていく。

※浚渫…海や川などに堆積した土砂を取り去る土木工事



日野川 (御代参橋付近・小井口)



南砂川 (鎌掛)

問 上野田ひばりの公園水路の除草を

答 水路の除草・土砂の撤去を行う



奥平 英雄 議員

問

上野田ひばりの公園水路は、松尾地先の公共下水道雨水渠整備工事がされ、日野川への雨水排水路ができてきたことにより、水路に土砂が蓄積し、草が繁茂しています。大雨の時には水の流れが悪くなり、逆流や水があふれる状況になっています。日野記念病院前の水路は細くなく、水路の改修はできないか伺う。

上野田ひばりの公園水路は、松尾地先の公共下水道雨水渠整備工事がされ、日野川への雨水排水路ができてきたことにより、水路に土砂が蓄積し、草が繁茂しています。大雨の時には水の流れが悪くなり、逆流や水があふれる状況になっています。日野記念病院前の水路は細くなく、水路の改修はできないか伺う。

※渠…人工の水路。みぞ。



60m区間で土砂堆積し、草が繁茂

答

開渠部分の約60mの区間で土砂の堆積や草等の繁茂がみられることから、今年度浚渫を検討いたします。

国道下の暗渠部や出雲川までの水路については、現状を確認し、現時点では問題はないと判断しております。引き続き適正な管理に努めます。なお、水路の改修等につきましては、当該区域は雨水排水事業計画の対象区間でないことから、現在のところ予定はありません。



草が繁茂するひばりの公園水路

新型コロナワクチンの接種者と非接種者

蓮花寺区内の速度規制と三叉路渋滞問題



高橋 源三郎 議員

問

日野町では65歳以上の高齢者において約85%の人が新型コロナワクチンの接種を希望しているとのこと。もしワクチン接種が毎年必要となった場合、町は財政面も含めてどういう見通しを考えておられるのか。

また、コロナワクチン接種者には「接種済証」を発行されていると聞きますが、接種者と非接種者の間で公共施設の催し等への入場制限で非接種者が不利に扱われるとか、その他でも不利益が生じないか心配します。

答

今回のワクチン接種は、予防接種法の臨時接種に関する特例を設け、厚生労働大臣の指示により町が実施するものとされており、その費用は国が負担することとなっている。もしワクチン接種が毎年必要となった場合は、ワクチンの種類やコロナウイルス感染症に対する環境や状

況も大きく変わってくる可能性があるので、財政面も含め国の指示等に基づき日々の感染症対策にしっかりと取り組んでいく。

次に、ワクチン接種は発症予防や重症化予防のものであり、打たなかったからといって不利益を被ることはありません。それよりも、住民の皆さまがデマやうわさに惑わされないように、ホームページ等で周知を図る必要性を感じている。

問

蓮花寺区に県道バイパスが開通して以来、字内の交通量は50分の1以下に減少し、区民の皆さんは県道バイパスの開通のおかげで、字内での交通安全が図られ安心されています。しかし、それでも朝の通勤時間帯には、菅川や蓮花寺の中を通動道路として

「通り抜け」する車が後を絶ちません。その台数がどれくらいあるか調査

したところ、平林町方面から来る車が朝7時から9時までの2時間で403台ありました。その内、菅川・蓮花寺方面へ行った車が130台(32%)。一方、この2時間で蓮花寺方面から平林町方面へ行った車は8台、バイパスへ出た車は14台でした。これらの数字を比較すると100台以上の車が区内を通り抜けしている想定です。また、バイパスの開通により字内に設置の40km/hの速度規制標識が

県公安委員会により撤去されたため60km/hで走っても速度違反になりません。これでは区民は安心できませんので町として何かよい対策はないか伺います。

また菅川地先の三叉路(ゼブラゾーンのある所)では、朝の通勤時間帯に渋滞が発生している。(※写真)現場を見る限りでは、バイパスの存在寺方面への交通量が朝は多

いことと、ゼブラゾーンに置かれた黄色いクッションドラムが、対向車の通行を妨げていることが分かりました。車の通行をスムーズにするためクッションドラムを2mほど引き下げてもらえないか。

答

速度制限については東近江警察へ要望しているが、道路環境から速度制限は難しいとのこと。

町の対応として外側線の引き直しを実施した。また、菅川地先の三叉路については道路の主従の区分は明確であり規制は難しく、区長からの強い要望によりクッションドラムを設置している。



▶県道バイパスに出るため一時停止する車



▶平林町方面から来る車の列



日野町の教育行政のこれから

日野菜の栽培面積10haに向けて

※1 GIGAスクール構想とは、義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画です。
 ※2 ICTとは、情報通信技術の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指します。

山本 秀喜 議員

問

日野町の教育は
今、第3期の教育

振興基本計画が策定され、基本目標が掲げられ、動き出していますが、子どもたちや先生方を取り巻く環境は、大きく変化してきています。長引くコロナ禍によって必要な会話や学びが制限され、昨年からは進められたGIGAスクール構想による、児童一人一台のタブレット端末の導入もその一つです。そして、就学以前や学校教育の中で個人差も生まれ、教育の難しさがここにあるように思っています。

答

今の子どもたちが大人になる、5

年先、10年先に向けた生涯学習社会を見据えています。まず、学校教育を通じて、「ふるさと日野」の学習などをコミュニケーションスクールの導入も踏まえ、地域に支えられる学校を「共創」したいと考えています。

タブレット端末は、誰一人取り残すことなく、確かな学びを保障するため有効に活用し、教員への指導は「学校ICT推進委員会」による研究会を行ったりして、指導力向上に努めていきます。機器の更新経費においては、自治体に大きな財政負担が生じないよう、国や県に対して要望していくことを考えています。

問

鎌掛にあるJA
グリーン近江農産

物加工施設は、国の産地パワーアップの補助制度や町の支援を受けて、平成30年に開設されました。

この補助制度を受けるための約束として、日野菜の栽培面積を拡大させると共に、お漬物袋の生産も増やし、日野菜の生産振興を進めることになっていました。

今になって、その目標値に達成できていないことによるペナルティがあることが分かってきました。

そこで、今まで実施してきたこと、要因分析、問題点を整理し、できる限り早急に達成できるように取り組みを開始しなければなりません。自らも昨年から栽培を始めた経験や、少くとも生かせないかと考え、質問とします。

答

日野菜の産地パ
ワーアップ事業の

計画に当たり、平成31年度の成果目標として、栽培面積10ヘクタールに対して7・4ヘクタール、漬物販売10万袋に対して49,477袋でした。こ

れらの実績をもとに農林水産省において審査が行われ、達成率が80%に満たないことから、滋賀県に対して産地パワーアップ事業の補助金採択のポイントをマイナスイポイントとする処置が取られました。当町に対しては、

目標達成時まで毎年、改善報告を提出し、産地パワーアップ事業を新規に受けられないペナルティが科せられています。今までは、産地交付金や機械購入補助など金額的な支援の他、原産日野菜と日野菜漬物を広くPRするため、日野菜漬物コンクールを開催してきました。

今年度も7月には、原産日野菜の種子を無料配布

トラクターによる日野菜の播種作業



布し、JAグリーン近江と共催で日野菜栽培研修会を実施していきます。また、鎌掛長野団地では再生された日野菜畑を利用し、一般の方から日野菜を栽培し出荷したい人を募り「日野菜一畝会」の結成により、生産者の増加と栽培面積拡大に努めている所です。

今回の事態を真摯に受け止め、まずは作付け面積の目標値の10ヘクタール80%のクリアは大前提とし、100%に向けて関係機関と連携し取り組んでいきます。



日野町教育振興基本計画

道の駅の必要性の検討を!

アクティブ・ラーニングの捉え方と町の方針について



谷 成隆 議員

問

「道の駅」は約30年前から全国で整備され始め、滋賀県下でも20箇所程度あり、日野町周辺の「道の駅」は

状況を呈しています。比較的交通量の多い県道内池バイパス・国道477号と県道泉田野線が交差する三十坪地先において「道の駅」の開発整備の検討をされてはどうかと提案する。

① 周辺市町の「道の駅」の状況について。

② 以前あった「道の駅」検討委員会の立ち消えについて。

③ 「道の駅」の有用な補助制度や運営主体の内容について。

④ 高齢者の働き場所として「道の駅」と増加する医療や介護の負担の関係性について。

▲EV(電気自動車)用の急速充電器も整備



答

① 滋賀県観光入込客数統計調査のベスト30に11の「道の駅」が入るなど観光誘客、物産販売による経済効果などが図られている。

② 平成14年度に庁内に検討委員会を設置した。当時、旧蒲生町との合併協議で検討したが課題も多く、その後、国の三位一体改革等もあり検討を継続できる状況になかった。

③ 社会資本整備総合交付金事業や地方創生推進

交付金等の補助事業で道路管理者が整備。運営主体は市町村約1割、第三セクター・公益法人約4割、指定管理約5割である。

④ 高齢者の社会参加と健康、いきがいがづくりにつながり、介護予防や医療費等の面でも効果は少なからず期待できる。仮に民間企業が取り組まれれば支援制度の活用や様々な手続等に積極的に関わっていく。

全国的にも成功事例として知られる東近江市の「道の駅あいとうマーガレットステーション」



▲施設内の直売所では、あいとうメロン等の特産品が人気を博している

問

教育長就任にあたり、文科省の推進するアクティブ・ラーニングの捉え方や町における方針について伺う。これまで児童生徒は教師より一方向で教えられる授業であったが、対話を通しての能動的な学び協働作業による深い学びを目指したものとされている。

① 対話と深い理解には一定の時間が必要なこと。消化しなければならぬカリキュラムへの影響はないのか。

② 指導する側の教師の力量の偏重やばらつきについて。

③ 評価はどうするのか。

答 ① 児童生徒が自分から進み学び他者との対話を通して学びを深めることが必須である。

それを抜きに知識や技能を習得するやり方はこれからの社会を生き抜く力を付ける事が出来ないという考え方が

である。

「主体的・対話的で深い学び」ができるように、カリキュラムがしっかりと達成できるように教員は日々授業改善に努めている。

② 近年全国的に団塊の世代が定年等によりベテラン教員の大量退職に伴う新規採用教員が増加している。ベテラン教員の指導技術、地域との繋がりを若い世代に引き継ぐことが大きな課題である。

③ 近年、社会や時代の要請が次々と変化し、そのたびに新しい教育内容が増えていく。教員一人ひとりが正しい価値観を身に付け、教育実践を積み重ね、研究していく必要がある。県教育委員会の指導や研修に参加、町教育委員会も若手職員の指導力向上を目指し事業を実施している。

日野町営住宅の情勢の変化

移動権を保障する近江鉄道線を守ろう



池元 法子 議員

問

現在、日野町には第一・第二内池団地、西山団地の合計57戸、増田住宅・中山大谷団地には現在入居軒数5戸があり、すべて必佐地区に集中。日野町公営住宅ストック総合計画を作成された平成14年当時と比較、空き住宅が目立ってくるほどに、需要や経済情勢に変化が見られる。そこで伺う。

- ①平成14年の計画当時と現在の入居状況の変化をどのように捉えているか。
- ②これからの町営住宅のあり方について。
- ③増田住宅の空き住宅、中山大谷団地の空き地の売却等、跡地利用の計画、考えを伺う。
- ④夏季の草刈り管理の現状と課題について。

答

①特に最近若い世代の応募が激減、住宅に対するニーズの変化がその要因。

- ②一定、従来型住宅を維持したうえで、町独自の町営住宅についても研究する必要がある。
- ③増田住宅については、売却も選択の一つ。中山大谷は、跡地利用も含め住生活基本計画、長寿命化計画更新の中で、計画策定に結びつける。
- ④現在、業者委託などで対応しているが、不十分の声があることから、地元委託など対策を講じる必要があると考える。



雑草が繁茂する中山大谷団地の空き地

問

法定協議会は、昨年、近江鉄道全線の存続に合意をした。しかし、今後、地域公共交通計画策定、自治体の財政負担問題、県が検討している「交通税」など法定協議会の下での大きな課題等、課題も多々残されている。

全国的に見ても、鉄道事業者全体では赤字であるにもかかわらず、赤字の鉄道線部門だけ取り出して廃線にするとということもよくある話で、近江鉄道も事業全体では赤字だと言われている。諸外国では事業者に責任を課している国もある。日本でも公共交通法として、移動権を国が保障するべきと、一定その思想は反映されるようになったが、極めて脆弱であり、日本ほど地域交通に対して力を入れないところはないとも言われている。大儲けしているところより、実際困っている切実な地方路線への支

援こそ必要ではないか。わが町もますます高齢

化が進む中、町民の移動権を保障するためのお考えは。

べきだという思いは同じである。

答

「交通税」については、まだ法定協

で議論になっていない。動向を注視する。移動権として、国が地域交通に保障することを大切にす

町として、持続可能な地域公共交通体系を構築するため、「わたむき自動車プロジェクト」を立ち上げ、日野駅を交通ターミナルとした活性化を図り、町民の移動権を保障するため、全国的にもモデルになるよう、安心して暮らせる町を目指す。



日野駅で交差する近江鉄道の電車

防災・減災対策について 循環型社会への取り組み



中西 佳子 議員



問

台風や集中豪雨等の災害時には防
災情報を把握し、避難行
動をとることが重要。町
では防災情報伝達システ
ムの整備や自主防災組織
への支援もある。災害に
強い町を願う。

答

①「日野町防災ア
プリ」は約1,7
00人が利用。「戸別受
信機」は666世帯が利
用している。課題は利用
者を増やしていくための
取り組みが必要である。
②主に隣近所の見守り
や助け合いによって、有
事に備える計画となっ
ているが、担当ケアマネ
ジャーや相談支援員が付
かれている場合もあるた
め、最も有効な個別計画
となるよう研究していく。
③この制度は、防災訓練
に要する経費の補助だけ
でなく、自主防災組織の
設立や防災資機材整備の
経費などのメニューがあ
り、メニューに合わせた
要件を定めている。補助
制度の見直しについては、
課題である「日野町防災
アプリ」などの普及啓発
につながる場合を対象と
して、要件の見直しを検
討したいと考えている。

問

総合計画の循環
型社会の中で、省
エネルギーや再生可能エ
ネルギーの普及・促進や
ゴミ減量化・資源化があ
げられている。今後、循環
型社会を構築し環境に優
しい町を目指して何点が
伺う。

答

①今年度事業では、
中学校の体育館や
松尾公園の照明をLED
機器に取換える計画をし
ている。また役場庁舎内
では、昼休みには、照明を
こまめに消灯することや
「サマーエコスタイルを行
い、適正な冷暖房により
節電に努めている。
②役場防災センター、図
書館、必佐小学校および日
野中学校に太陽光発電を
設置している。今後につい
ては、長寿命化計画を踏ま
え、改修等の時期に、利用
できる補助金や財政事情
を勘案しながら設置を検
討していく。個人住宅用太
陽光発電の設置について
は、引き続き、日野町住宅
リフォーム等促進事業の
中で、申請があれば支援さ
せていただく。
③ゴミ減量化を実現する
ためには、町民一人ひと
りがごみを発生させない
ライフスタイルに努める
とともに循環型社会の実
現に向けて取り組むこと
が大切。そのために町は

再質問

ゴミ減量化について、
近年増え続けているのが、
使用済み紙おむつと言わ
れており、町が使用済み
紙おむつの分別回収、再
生活用も考える必要が
あるのではないか。

再質問の答

紙おむつの生産量は増
えている。新たな分別を
始める場合には、場所や
運搬、処理等を考えてい
かなければならない。日
野町の場合は、中部清掃
組合とも協議が必要であ
る。すぐには、難しいが問
題意識をもって勉強して
いきたい。



防災センター太陽光パネル



役場ホールで発電量を表示

問 中山間地域等直接支払事業の拡充を

答 令和7年度からの充実を検討する



齋藤 光弘 議員

※急傾斜地勾配1/20は、20mの距離に対し、高低差1mの傾斜があるということです。

蔵王地先の急傾斜地



田：急傾斜地（勾配1/20以上）21,000円/10a
緩傾斜地（勾配1/100以上1/20未満）3,000円/10a

問 令和3年度から中山間地域等直接支払事業（急傾斜地勾配1/20）を実施していた

だいていますが、農業者から緩傾斜地勾配を1/50を対象とする事業拡充を要望されています。

① 緩傾斜地の事業拡充を実施されるのか。

② 日野町の農業の現状、農業振興をどのように認識されているのか。

③ 緩傾斜地の事業拡充の実施計画を問い質し、早期の事業拡充を決定されることを要望しました。

答 ① 指定棚田以外の緩傾斜へ支援拡大

することにについては、今後の取組状況を確認する中で、町の財政負担を考慮し、判断してまいりたいと考えており、早くとも第6期対策の始まる令和7年度からの充実を検討しています。

② 農業については、生業としての食料の供給はもちろんのこと、国土や自然環境の保全、美しい景観形成や伝統文化の継承といった多面にわたる機能を持っています。そういった意味で、国や県とともに今後も様々な支援を実施していく必要があると考えています。

③ 令和7年度から拡充することを目処とし、本年の水稲刈り取り終了後の10月ころから、該当する土地の測量・取りまとめについて随時実施していきたいと考えています。

問 防災情報伝達システムの整備状況は

答 防災アプリの利用者を増やしていく

問 日野町は防災情報伝達システムの整備が令和元年から2年

をかけて事業実施され一定の整備が完了しました。こうした防災情報伝達システムの整備状況について、成果とその効果はどうか。有効に活用されることを願ひ質問しました。

答 ① 防災アプリに登録

録いただけると防災情報をはじめ防災マップ、施設情報、気象情報、広報ひの、議会情報、新型コロナウイルスの情報を発信できることを伝え、利用促進につなげてい。

② 「タブレット」は全ての区長・町代様・公民館で利用いただいている。地域の情報伝達手段に利用していただけです。「戸別受信機」は666世帯に利用いただいている。

③ 新たに日野公民館に設置し効果あると考える。

④ Wi-Fi環境は町内10施設の公民館、図書館、役場、防災センターに設置している。避難された方が情報収集する際の利便性向上につなげたい。

⑤ 「要支援者避難プラン個別計画」の更新は年1

- ① 防災アプリ利用登録の普及をどのように取り組むのか。
- ② 防災タブレット、戸別受信機の活用は。
- ③ 屋外拡声支局の更新設置の効果は。
- ④ Wi-Fi環境の整備は。
- ⑤ 避難行動要支援者の支援体制はどうか。
- ⑥ 整備の強化、課題はどうか。

防災アプリの登録方法
QRコードを読み取り、
ライブビジョンを検索



Android用



iPhone用



問 日野町にとって観光振興とは？

答 観光をきっかけとした地域との関わりを町の課題解決にもつなげていきたい



野矢 貴之 議員

問 日野町の観光振興は、どこに向かっているのか、根拠となるような条例や個別計画は、第6次日野町総合計画をはじめ、どこにも記載されていない。

答 日野観光協会は設置根拠のない任意団体であるが、町が事務局であった時代もあり、行政とは観光振興のために常に連携していく関係である。町の魅力を発信するということには

ぜ日野町には観光振興が必要なのか、そもそも日野町は観光振興ができるのか。

じまり、観光業という専門性のある事業を観光協会に担ってもらうことが、効果的な役割分担であると考えている。

観光産業として大きなお金を生むことに期待ができないとすれば、日野町は「地域の課題解決のために観光を活用する」としてはどうか。未来のために、文化・観光資源の担い手とも連携・役割分担した計画を望む。

今後については、日野町の観光が目指す方向性を示せるようなものを考え、観光協会をはじめ町民や訪れた人とも共有し、課題解決につなげていきたい。

例) 日野町で食事ができる場所を知りたいな

<窓口A>
日野町商工会
会員紹介

<窓口B>
日野観光協会
会員紹介



会員？
日野町のことはどこでわかるの？
私はお店が知りたいだけなのに

※おもてなしのためには、ユーザー目線で仕組みを再構築すべし！

問 地域おこし協力隊制度を活用することによって、今まで取り組むことができなかった課題にチャレンジできるようにする。

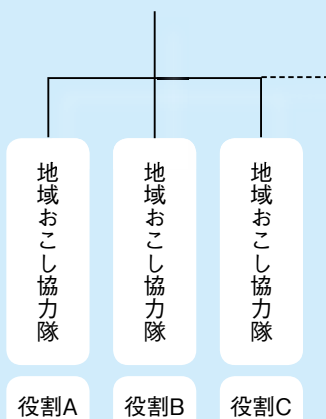
答 外部人材である地域力創造アドバンスといった制度も踏まえて、隊員の出口（3年後の専任）も考慮しながら、日野町に合った企画を考

人員・財源不足で取り組めていない課題は地域おこし協力隊を含めたプロジェクトチームなら実施できる！

町としては取り組みたいけど、十分な時間をさける担当人員がない、人件費などの財源がない、そんな問題を解決してくれる制度なのだ。現に、同時に十人以上採用している自治体もたくさんある。日野町が本当に解決したい、解決すべき課題が明確であるならば、この制度を活用しない手はない。

地域課題を解決するコミュニティビジネスをロールスクでできると捉え、「できない」「できない」に変えてもらいたい。

地域おこし協力隊活用イメージ
『〇〇プロジェクト』をやり遂げる熱意のある人
職員・住民（プロジェクトマネージャー）



地域おこし協力隊制度活用のポイント

- ・職員+複数隊員のチームで取り組む
- ・プロジェクト達成=地域課題の解決
→隊員の実績→愛着→定住につながる
- ・募集の段階で企画・計画を明確にしておく
- ・同じプロジェクトでも異なる役割を担う
- *1人で孤立してしまうことを防ぐ
- *隊員に丸投げ依存になることを防ぐ

デジタル改革関連法と日野町の参与

集落における災害避難体制整備



加藤 和幸 議員

問

国会でデジタル改革関連6法が成立。日野町でもこれに先立ち、令和3年度予算で、デジタル対応の非常勤職員「政策参与」の配置を決めた。

①週2回従事の業務内容、今後の計画を伺う。
②マスコミなどで、デジタル法は地方自治の理念に反し、個人情報保護が危うい、との指摘があるが、どうか。
③個人情報の匿名加工情報制度、オンライン結合による個人情報の民間活用など「先取り」施策は行うべきでない。マイナンバーカードの強制や未取得者に不利益が及ぶことのないようにしていただきたい。

答

①デジタル化推進にかかる調整、職員へのアドバイス等、業務改善を主としており、ホームページの運営改善なども試みていただいている。今後は職員各自のITに対するスキルアップ、意識改革、日野町版のDX（デジタルトランスフォーメーション）改革）に取り組みたい。

②法はシステムの標準化・共通化で維持管理経費や財政負担の軽減、住民の利便性向上・迅速なサービス提供が可能。地域の特性に応じたシステムのカスタマイズ（仕様変更）が可能となるように国に働きかけたい。
③プライバシーの権利を保障し、個人の利益を保護する。本人同意のない第三者提供や匿名加工情報は行うべきでない。マイナンバーカードの強制、未取得者が不利益を被ることは考えていない。

問

集中豪雨など自然災害が年々増加。集落単位の「地域避難集合場所」について伺う。

①町内各集落における防災体制、具体的には集落防災計画や防災委員会の有無、地域避難集合場所について、町は把握しているか。
②集落の決めた地域避難集合場所が適性・安全な場所か判断されているか。
③収容人員など条件はどうか。
④住民一人ひとりが大災害時にどうするのか全員が避難所へ行くことはできないから、だれがどこへというのを家族や集落防災委員会などで話し合い、シミュレーションしておくことが必要と考えるが、町はどういう対応をしているか。

答

①自主防災組織の規約を策定している集落、自治会単位で住民が集う「地域避難集合場所」を把握している。

②場所の選定にあたっては、立地条件として浸水想定区域や土砂災害警戒区域を避けた区域が基本である。
③地域避難集合場所も指定避難所に準じるもの

考えている。コロナ禍などの状況下では安全な親戚・知人宅などへの避難も考えていただきたい。

④各家庭・各集落において、連絡方法、行動計画、防災訓練などを通じてシミュレーションしていただきたい。町としても新たな自主防災組織の設立も含め、支援していきたい。



カード未取得者に送られた案内（一部）



◀各戸に配付された防災マップ。家族や集落でシミュレーションを（表紙）

いせの調整池は廃止可能か？

中山中小企業団地の開発を！



後藤 勇樹 議員

問

会、本年の3月議会に続き、いせの調整池問題をただしました。

3月議会での建設計画課長の答弁では、令和8年着工予定の雨水排水整備事業が完了すれば、調整池を廃止できるとのことであったが、3月議会後、本当に可能なのか県に調べていただいた結果、大雨や台風時の調整池の貯水量、排水路の許容量、出雲川の水位上昇等のデータを調べ、それらが安全にクリアしている必要がある、現実的には難しく、過去に県内で調整池が廃止になった例は無いとのことであった。にも関わらず調整池を廃止できると断言される技術的な根拠を教えてください。仮に廃止できた場合、元の保留地に戻すための費用はどうするのかも教えてください。

答

(建設計画課長)
県に確認したわけではないが、雨水排水整備事業が完了すれば廃止できると思っっている。

調整池を埋め立てて保留地に戻すための費用は、当初から約1千万円分を見込んで、その費用を差し引いた上で土地を購入しており、その額が6900万円である。町民も納得してくださると思う。自信はないが。

後藤の一般質問で分かったこと

12月議会

伊勢街道土地区画整理組合の一部の方から「雨水排水事業が遅れているのは町の責任。調整池を保留地として購入してもらわなければ精算できない」と強く迫られ調整池を保留地の価格で購入したことが判明。

3月議会

調整池購入の原資が、条例で町営住宅建設整備に用途が限定されている基金であったことが判明。

問

びわこ空港建設計画に伴い設定された中山の中小企業団地は、現在も「日野町都市計画マスタープラン」に掲載されています。これは交通の便も良い上、名神名阪連絡道路実現に向けて大きく動き出している現状、この中小企業団地開発に乗り出す企業を募り、町として企業誘致のための用地確保を図る必要があるのではないのでしょうか。人口減少、設備や施設の更新、コロナ禍などにより、今後ますます財政状況の悪化が懸念される中、安定財源確保の面からも新規企業団地への企業誘致には期待がかけられます。町長もトップセールスで企業誘致を実現してほしいと思うが、認識を伺います。

答

(建設計画課長)
本年度は次回「日野町都市計画マスタープラン」の策定年にあたっており、引き続き中小企業団地建設計画地として設定する予定。

(商工観光課長)
安定した税収確保の面

からも、今後新たな工業団地開発には力を入れていきたい。(町長)

クリアしなければならぬ問題もあるが、工業団地開発ならびに企業誘致に積極的に取り組んでいきたい。



第4回定例会（6月1日～24日）

町長提出議案	結果 (*1)	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	杉浦
財産の取得（2議案）														
役場の庁内ネットワーク更新機器 ◎財産の種類・数量…利用者やデータ等を管理する各種サーバ12台、高性能無停電電源装置8台他 ◎取得金額…4,400万円 ◎取得の相手方…(株)ケーケーシー情報システム代表取締役社長 松下直弘 ◎納入期限…令和3年9月30日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
小中学校の校務用センターサーバシステムおよび教員用パソコン機器 ◎財産の種類・数量…校務用ノートパソコン174台、図書室用パソコン6台、データやウイルス等を管理するサーバ7台他 ◎取得金額…9,680万円 ◎取得の相手方…キノビクス(株) 代表取締役 斎藤隆夫 ◎納入期限…令和3年8月31日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
条例の一部改正（1議案）														
日野町手数料徴収条例 関係法令の改正に伴う改正（マイナンバーカードの再交付手数料の規定が不要となることから削除するもの）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
補正予算（1議案）														
一般会計（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

議員提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	杉浦
意見書の決議（1件）														
交通不便地に居住する交通弱者の移動支援に係る経費への支援拡大を求める意見書 ◎提出者…後藤勇樹総務常任委員長	決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

☆交通不便地に居住する交通弱者の移動支援に係る経費への支援拡大を求める意見書を全会一致で決議、議長名で政府関係機関に提出。先例として全国町村議会議長会へ報告（意見書の要旨）

- 特別交付税における地方バスの経費について、令和2年度から導入された財政力指数による補正について、個々の町村の実情を勘案した内容となるように是正を行うこと。
 - ☞ 令和2年度から国の特別交付税算定方法の変更により、地方バスの運営経費の参入が削減された。地方バスの経費が単なる赤字補てんとならないように、経営改善を行っている町村の努力を評価・誘発するような制度となるように提案を行う。
- 交通不便地の交通弱者が公共交通により移動できる権利を維持することに必要な経費（公共交通の無料バスや個別輸送（ボランティア輸送や互助による輸送）、公共交通活性化への取り組み等）について、交付税算定の対象とするなど財政支援を行うこと。
 - ☞ 運転免許証返納者をはじめすべての交通弱者に対する自治体の施策に対して財政支援を求めるもの。

（意見書の提出先）衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・国土交通大臣

*意見書決議の内容は、日野町ホームページ（議会）をご覧ください。議会事務局までお問合せ下さい。

提出された議案と結果

○賛成 ×反対

第3回臨時会（5月17日開催）

町長提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	杉浦
専決処分（条例の一部改正）（1議案）														
日野町税条例および日野町税条例等の一部を改正する条例 関係法律の制定公布に伴い、軽自動車税（環境性能割）の税率区分の見直しに対応するための改正他	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
工事請負契約の締結（1議案）														
町民会館わたむきホール虹外壁補修工事 ◎工事内容…外壁等の補修 ◎契約金額… 6,072万円 ◎契約相手方…株式会社奥田工務店 代表取締役 北川 昭市 ◎工事期間…令和3年12月28日まで	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
条例の一部改正（1議案）														
日野町固定資産評価審査委員会条例 国の押印見直しに伴い、審査申出書等への押印を廃止する等、所要の改正を行うもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

*議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数のみ「議長採決」として表明します。

議員提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	杉浦
条例の一部改正（2議案）														
日野町議会委員会条例 新たに議会広報常任委員会を設置するもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町議会基本条例 議会における災害時の対応と議会広報の充実について、新たに規定するもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
特別委員会の委員の定数変更（1議案）														
地方創生特別委員会 第6次総合計画に掲げられためざすべき将来像の実現に向け、結束して取り組みを進めるため、現在7人としている定数を12人とするもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
選挙（3件） 4ページの構成表のとおり選任されました														
常任委員の選任	選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議会運営委員の選任	選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
地方創生特別委員会委員の追加選任	選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

《日野町聖火リレーを、議員もボランティアで見守りました》

令和3年5月28日（金）午前10時30分頃に東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーが日野町に到着しました。日野町では、松尾中央交差点付近を起点として、松尾公園や役場庁舎の南側主幹道路を東へ進み、さらに日野小学校、日野公民館の北側主幹道路を東へ進み、村井4区付近を着地点として、この区間を8人の聖火ランナーが走り抜けました。1番目のランナーには元オリンピックの伊藤みきさんが、最終ランナーには元レスリング選手の北岡秀王さんが走られました。



伊藤みきさん



北岡秀王さん



8人の聖火ランナー

議長コラム



議長 杉浦 和人

課題解決に
町・議会が一体で

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んでいます。しかし、まだまだ終息は見えてきません。より一層、気を緩めず万全な予防を講じられます様お願いいたします。

さて、議会も折り返しの2年に伴い、各委員長の改選が行われました。地方創生特別委員会・議会改革特別委員会は、議会のあるべき姿を全員が改めて確認し、委員長の新しい感覚で議事が進められました。

今議会は一般質問（一問一答）で当局の答弁に不親切な回答がしばしば見受けられましたので、改善を求めました。

一方、議会にあつては先の質問者で、既に回答を得ている内容を繰り返し質す議員も見受けられました。角度を変え、より鋭い論陣を展開すべくとも感じました。

町の財政はより厳しさを増しています。町・議会が一体となって国への財政支援を求めていかなければなりません。高齢者の免許返納者や未成年者など家用自動車を持たない人達、交通不便地に居住する交通弱者の移動支援のために、交通手段が担保される交通インフラの充実について、交付税算定の対象にすることを求める意見書を政府関係機関に送付致しました。引き続き住民福祉の向上に全員で取り組んで参ります。

9月定例会（本会議）のお知らせ【予定】

9月1日（開会・提案説明）

10日（質疑）・13日・14日（一般質問）

27日（採決・閉会）

編集後記

今回から「議会広報常任委員会」で編集作業を行うことになりました。また、委員構成も変わり、左記の7名による委員構成となりました。

住民の皆さまに親しんでいただける広報づくりを目指して、委員一同知恵と力を合わせて頑張りますので、今後ともよろしく願います。

（高橋源三郎）

議会広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 高橋源三郎 |
| 副委員長 | 山本 秀喜 |
| 委員 | 野矢 貴之 |
| 委員 | 加藤 和幸 |
| 委員 | 後藤 勇樹 |
| 委員 | 谷 成隆 |
| 委員 | 齋藤 光弘 |